

平成20年度

決算報告書

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

国立大学法人和歌山大学

平成20年度 決算報告書

国立大学法人和歌山大学

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	4,171,760,000	4,529,816,946	358,056,946	注1)
施設整備費補助金	53,500,000	113,500,000	60,000,000	注2)
補助金等収入	27,000,000	42,392,457	15,392,457	注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	23,000,000	23,000,000	-	
自己収入	2,723,969,000	2,718,137,185	△ 5,831,815	
授業料、入学金及び検定料収入	2,641,977,000	2,653,937,198	11,960,198	注4)
雑収入	81,992,000	64,199,987	△ 17,792,013	注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	190,228,000	364,619,474	174,391,474	注6)
目的積立金取崩	198,953,000	30,388,720	△ 168,564,280	注7)
計	7,388,410,000	7,821,854,782	433,444,782	
支出				
業務費	6,018,831,000	5,882,307,307	△ 136,523,693	
教育研究経費	6,018,831,000	5,882,307,307	△ 136,523,693	注8)
一般管理費	1,075,851,000	982,949,729	△ 92,901,271	注9)
施設整備費	76,500,000	136,500,000	60,000,000	注2)
補助金等	27,000,000	42,392,457	15,392,457	注3)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	190,228,000	306,878,476	116,650,476	注10)、注11)
計	7,388,410,000	7,351,027,969	△ 37,382,031	
収入－支出	-	470,826,813	470,826,813	

注1) 平成19年度中の運営費交付金収益化額が見込額より少なかったことに伴い、平成20年度へ当該債務を繰り越したことによって、予算金額に対して決算金額が358,056,946円多額となっています。

注2) 施設整備費補助金が見込よりも多かったことにより、予算金額に対して決算金額が60,000,000円多額となっています。

注3) 補助金等が見込よりも多かったことにより、予算金額に対して決算金額が15,392,457円多額となっています。

注4) 主として入学金収入について見込よりも入学者数が多かったために、予算金額に対して決算金額が11,960,198円多額となっています。

注5) 科学研究費補助金の間接経費を予算額に計上していたため23,613,000円減少しましたが、特許権等収入及び学術指導収入等が増加したため、結果として、予算金額に対して決算金額が17,792,013円少額となっています。

注6) 科学研究費補助金の間接経費を予算額に計上していなかったため23,613,000円増加し、また、外部資金獲得に努めたこと等により、予算金額に対して決算金額が174,391,474円多額となっています。なお、決算金額には、前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額のうち当年度支出額50,650,574円が含まれています。

注7) 法人内補正予算編成等による学内配分予算の見直し及び目的積立金執行計画変更等により、予算金額に対して決算金額が168,564,280円少額となっています。

注8) 教職員の人件費は削減に努めたため105,033,642円減少しました。目的積立金取崩予定額が154,317,780円減少しました。科学研究費補助金の間接経費を予算額に計上していたため20,020,000円減少しました。人件費減少額及び一般管理費減少額のうち142,847,729円を教育研究のための物件費に充てたため、結果として、予算金額に対して決算金額が136,523,693円少額となっています。

注9) 職員の人件費は削減に努めたため56,046,110円減少しました。目的積立金取崩予定額が14,246,500円減少しました。科学研究費補助金の間接経費を予算額に計上していたため3,593,000円減少しました。一般管理のための物件費は、管理経費の縮減に努めたため19,015,661円減少し、結果として、予算金額に対して決算金額が92,901,271円少額となっています。

注10) 科学研究費補助金の間接経費を予算額に計上していなかったため23,613,000円増加し、また、外部資金獲得に努めたため、結果として、予算金額に対して決算金額が116,650,476円多額となっています。なお、決算金額には、前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額のうち当年度支出額50,650,574円が含まれています。

注11) 科学研究費補助金の間接経費は、決算報告書では収入の産学連携等研究収入及び寄附金収入等、支出の産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上していますが、損益計算書では経常収益の研究関連収入、経常費用の業務費及び一般管理費に計上しています。